

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		九州中央地域連携推進協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連									
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	濱田 善也						
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	企画財政課	担当者名	齋藤 正典						
	基本事業	84	広聴・広報機能の充実			所属班	政策企画班	(内線)	1245						
法令根拠		九州中央地域連携推進協議会規約													
予算科目	会計	1	款	2	項	1	目	11	事業連番	11050	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	11		
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		H9		年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (～		年度)		コスト削減優先度評価結果	6
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)															
【事業の内容】九州中央地域の多面的な交流・連携を図るとともに、地域特性を活かした一体的な振興整備を行うことを目的に組織された「九州中央地域連携推進協議会＝通称：九州77」に構成市町村として参画している。 【業務の流れ】・総会及び講演会、地域づくりに関する交流研修会、会議へ参加する。・推進協議会が取り組む事業として、「九州中央77スタンプラリー」事業があり、市の物産・主要施設を紹介、来訪を促進する。・構成市町村は、スタンプラリーのスタンプ設置箇所の選定、承諾確認、スタンプラリー用品の配置、特産品当選者への賞品発送(各市町村3名分ずつ分担)を行う。 【主な予算費目】需用費(九州77スタンプラリーリーフレット代)、負担金補助及び交付金(市町村負担金)															

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・総会、交流研修会、会議への参加 ・スタンプラリーへの参画(スタンプ設置場所:2箇所)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度に同じ。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・スタンプラリー参加者	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 総会、交流研修会、会議回数 回 イ スタンプラリーの設置数 箇所
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・合志市(ユープラス弁天、きくちのまんま)に来訪してもらう。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア スタンプラリー応募総数 件
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ・いつでも行政情報を入手できる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 合志市のスタンプを押した応募件数 件
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 行政情報を入手している市民の割合 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 目 標 合 計 数 計 画 22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	160	130	130	130	130	130		0
	うち指定経費		千円	0	0	0	0				
	うち時間外、特殊勤務手当		千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2		2
		延べ業務時間	時間	84	78	78	78	78	78		78
(B)人件費計		千円	333	310	310	310	310	310	310		
トータルコスト(A)+(B)		千円	493	440	440	440	440	440	440		
活動指標	ア イ	回 箇所	3 2	3 2	3 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	
対象指標	ア イ	件	2523	3879	4000	2245	2500	3000	3000	3000	
成果指標	ア イ	件		127	130	139	130	130	130	130	
上位成果指標	ア イ	%	81.4	80.6	83	80.4	84	85		85	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成9年8月1日、熊本・大分・宮崎県にまたがり九州中央地域で連なる77市町村が連携し、自立的で多様性に富んだ地域社会の実現に向けて、市町村の連携強化と交流拡大による広域的で一体的な交流圏域の構築をめざして設立された。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
本協議会は、当初77市町村で発足し、『九州中央77』として、構成市町村の連携強化と交流拡大事業の推進に取り組み、定着してきたところであるが、市町村合併の進展により現在は、37市町村での構成となっている。〔熊本県：熊本市、宇土市、宇城市、阿蘇市、合志市、城南町、富合町、美里町、大津町、菊陽町、南小国町、小国町、産山村、高森町、西原村、南阿蘇村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町の21市町村〕、〔大分県：大分市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市の7市〕、〔宮崎県：延岡市、日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町の9市町村〕、及び推進協議会の趣旨に賛同する機関から顧問・参与(総務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、日本郵政公社、各県など)が参加している。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特に聞いていない。

事務事業名	九州中央地域連携推進協議会参画事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ スタンプラリー参加者が合志市に来訪することで、行政情報を入手できることが、結果に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 市町村としての連携であり、公共的な関与が必要である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象・意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 連携協議会がめざす九州中央地域の横断軸連携の背景には、中九州横断道路建設促進の期成も視野に入れてあり、この参画事業のさらなる活性化によって、人・物の動きを円滑にするための手段(道路)を求める声が盛り上がる可能性もある。しかし、当面は新たな協議会事業の展開は予定されていない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 参画事業の廃止・休止は、構成市からの離脱問題とも関係することになり、市としては影響がある。しかし、市民にとっては間接的な立場であり、他の情報提供方法や交流事業の模索によって同種のサービスが提供できれば、大きな影響はない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 現時点では、この参画事業以外に、県境を越えた市町村の広域な連携体制はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ この参画事業による構成市町村の経費負担は、市町村合併によって若干減少しているが、連携協議会の事業活動を行ううえでは必要なものである。協議会への参加等に伴う職員の旅費も削減されており、これ以上の削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 現状も職員2名で、協議会の事業活動に応じて機動的に対応しており、これ以上の削減の余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 公平な情報提供を行っており、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、連携協議会がめざす九州中央地域の横断軸連携の背景には、中九州横断道路建設促進の期成も視野に入れてあり、この参画事業のさらなる活性化によって、人・物の動きを円滑にするための手段(道路)を求める声が盛り上がる可能性もある。しかし、当面は新たな協議会事業の展開は予定されていない。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 本協議会の目的に賛同し、設立から参画してきた経緯を考えると現状維持が妥当と思われる。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)